

【事例発表】

団体名：徳島県

1. 徳島県について

徳島県の人口は約75万人、在留外国人数は5,012人（平成27年12月末現在、法務省「在留外国人統計」より）で、県人口の約0.67%（150人に1人）の方が外国籍の方です。

本県では、国際交流担当課である国際企画課において、いわゆる「生活者としての外国人」のための日本語教室を徳島県国際交流協会等に委託して開催しているのはじめ、県教育委員会が市町村教育委員会と連携して、「帰国・外国人児童生徒“いきいき”事業」として日本語支援・通訳支援事業を実施、雇用政策担当課が徳島県労働者福祉協議会に委託して就職に繋げるための日本語講座を開催するなど各部署、各関係機関が連携し日本語教育事業を展開しています。

徳島県マスコット「すだちくん」



徳島県の日本語教育事業



TOPIA 日本語教室
(体験学習・図書館利用者登録)



夏休み子ども日本語教室

2. (公財) 徳島県国際交流協会 (TOPIA) について

TOPIAは平成2年、地域レベルでの国際交流・協力を推進するため誕生しました。在住外国人への支援をはじめ、県民への多文化理解の促進・情報提供、国際交流団体やボランティアへの活動支援等、県民と外国人が互いに理解し住みやすい環境づくりに取り組んでいます。

その中の一つの取り組みである「在住外国人への日本語支援」については、平成2年の設立当初より実施しており、平成25年度からは、徳島県が受託した文化庁の日本語教育プログラムを徳島県と連携しながら取り組み、対話や体験を取り入れたクラスを実践しているところです。



3. 連絡先

徳島県国際企画課

088-621-2092

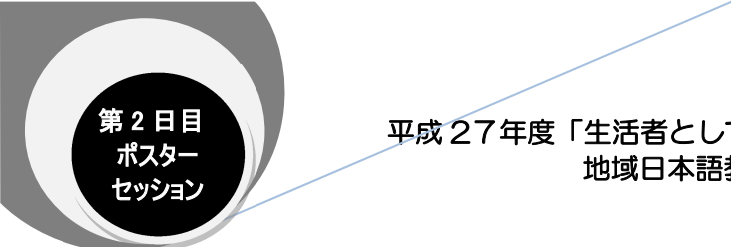
徳島県国際交流協会

088-656-3303

平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラムA

第2日目
ポスター
セッション

事業名称	徳島で暮らす外国人のための日本語教育事業
地域の課題	在住外国人の方が異なった生活習慣や日常生活に関する情報不足のため生活上の不安を抱えたり、地域社会で孤立してしまう事が懸念されるので、より実践的な日本語修得の場となることが求められる。
事業の目的	徳島県在住の外国人に対して、日本語学習機会の提供及び生活支援を行うとともに、日本語支援ボランティアの養成やレベルアップを行い、在住外国人の支援体制を強化することにより、人種・国籍等に関わらず安全・安心に暮らすことのできる地域づくりを推進する。
事業の概要	<p>日本語教育の実施</p>
	<p>名称：徳島で暮らす外国人のための生活支援講座 目的：異なった生活習慣や日常生活に関する情報不足のため生活上の不安を抱え、地域で孤立することのないよう、日本語学習機会の提供とともに生活支援を行う。 対象：日本語を母語としない人（帰国者・在住外国人等） 人数：前期：109人 後期：118人（国籍：中国・韓国・ベトナム・フィリピン・モンゴル・米国など） 時間：通常クラス 1.5時間×237回 集中講座 1.5時間×15回 体験学習 1時間×2回 計 380時間 内容：日常生活で必要な会話の実践的な練習を行い、円滑な生活が送れるよう支援する。 平成27年度は地元高校生から押し花箸袋作りを教わったり、教室外での初詣やお抹茶体験等を実施し、日本文化を学びながら実践に近い日本語を体験する授業などを積極的に取り入れた。</p>
	<p>日本語教育を行う人材の養成・研修の実施</p>
	<p>名称：日本語指導ボランティア養成講座・スキルアップ講座・フォローアップ講座 目的：県内日本語支援者の養成とスキルアップのための講座を実施し、地域の外国人をサポートするための人材育成を行い、ボランティアの拡充と定着を促進する。 対象：県民、県内在住外国人のうち日本語を話せる方 時間/人数：ボランティア養成 48時間・32人 スキルアップ 3.5時間・39人 フォローアップ 6時間・23人 内容：養成講座では入門・初級レベルの学習者に対する教え方を学ぶ。また、スキルアップ講座及びフォローアップ講座では、活動しているボランティアを支援するための研修を行うと同時に、指導者やボランティア間の情報交換も行い、ボランティアの定着化も図る。</p>
成果と課題	<p>日本語教育のための学習教材の作成</p> <p>名称：徳島で暮らす12か月（会話編） 目的：来日間もない外国人が生活するにあたって、日常生活の場面で必要な基本的な会話集を4月から3月まで月を追って作成することによって、受講者の生活支援につなげる。 対象：初級レベルの受講者用。構成：会話集・翻訳あり（英語・中国語）・A4サイズ75ページ</p> <p>基本的な日本語学習や徳島色を取り入れた「対話・体験」重視の学習を通して、日本語能力UPとともに受講者同士のつながりも生まれた。また、日本語教育人材育成のスキルアップ講座でも平成27年度及び平成28年度に対話型クラスをテーマに取り上げ、対話型クラスの浸透を図っている。</p>
発表者から一言	<p>徳島県内では、県国際交流協会が県国際企画課から受託し生活者のための日本語教育を実施している他、県教育委員会が帰国・外国人児童生徒への支援、県雇用関係課が就職につなげるための日本語支援をするなど、各部署が連携して日本語教育を行っています。また、民間の国際交流団体や学校・大学等とも協力しながら、県内の在住外国人の日本語や日常生活を多方面から支援できるよう努めています。</p>



第2日目
ポスター
セッション

平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラムA